

## 第4期長浜市定住自立圏共生ビジョン（案）について

# 1. 定住自立圏構想の概要

## 「定住自立圏構想」の推進

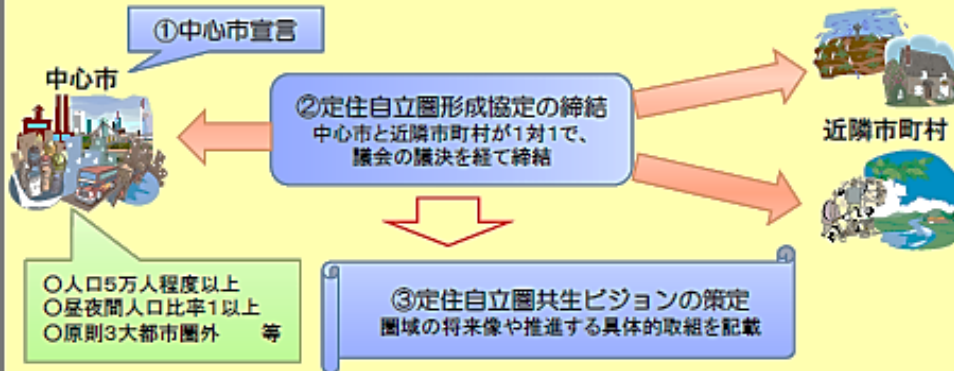
### 定住自立圏構想の意義

中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進し、地方圏における定住の受け皿を形成する。

#### 【圏域に求められる役割】

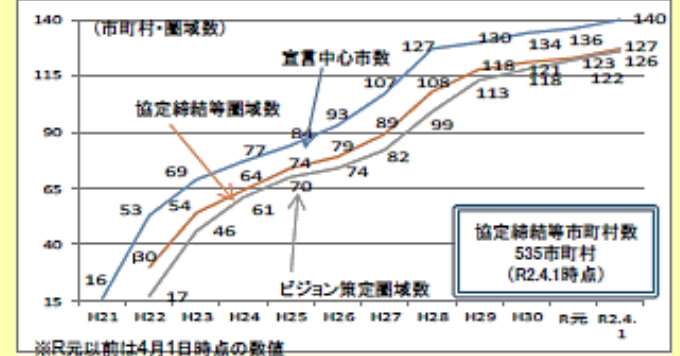
- ①生活機能の強化（休日夜間診療所の運営、病児・病後児保育の実施、消費生活法律相談の実施、地場産業の育成 等）
- ②結びつきやネットワークの強化（デマンドバスの運行、滞在型・体験型観光・グリーンツーリズムの推進、生活道路の整備 等）
- ③圏域マネジメント能力の強化（合同研修の実施や職員の人事交流、外部専門家の招へい 等）

### 圏域形成に向けた手続



### 定住自立圏構想への取組状況

KPI: 2024年 140圏域 (R2.4.1現在 127圏域)



### 定住自立圏に取り組む市町村に対する支援

#### 特別交付税

- ・包括的財政措置(平成26年度から大幅に拡充)  
(中心市 4,000万円程度→8,500万円程度)  
(近隣市町村 1,000万円→1,500万円)
- ・外部人材の活用にあつた経費に対する財政措置
- ・地域医療の確保にあつた経費に対する財政措置 等

#### 地方債

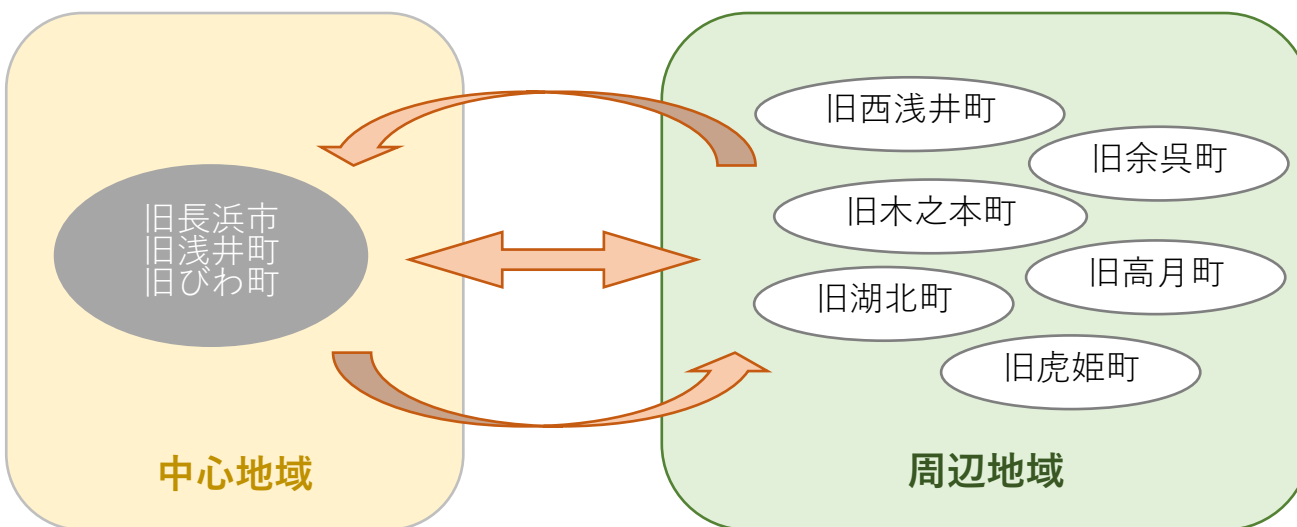
- ・地域活性化事業債を充当※ (充当率90%、交付税算入率30%)  
※医療・福祉、産業振興、公共交通の3分野に限る

#### 各省による支援策

- ・地域公共交通の確保や教育環境の整備支援など、定住自立圏構想推進のための関係各省による事業の優先採択

## 2. 長浜市定住自立圏共生ビジョンの概要

地域住民の生活を支え高次な都市機能を充実させていく中心地域と、生活を守る上で必要不可欠な地域交通の維持確保や食糧の供給機能など、生活機能の充実が求められる周辺地域が、それぞれ担うべき機能を分担しつつ、同時に有機的に連携することによって、地域に「定住」するために必要な諸機能を確保し、「自立」するための経済基盤を培い、圏域全体としての魅力を高めるため、平成23年から長浜市定住自立圏共生ビジョンを策定し、取組を進めてきました。



※長浜市は合併1市圏域  
(1つの合併市で1圏域を形成)

## 2. 長浜市定住自立圏共生ビジョンの概要

### 長浜市定住自立圏共生ビジョン期間の財政措置（特別交付税措置） 状況

（単位：千円）

年度	財政措置		
		包括財政措置	地域医療確保
R3	90,900	82,900	8,000
R4	91,350	83,350	8,000
R5	91,350	83,350	8,000
R6	91,350	83,350	8,000
R7（見込み）	91,350	83,350	8,000
合計	456,300	416,300	40,000

### 3. 第4期長浜市定住自立圏共生ビジョンの概要

#### これまでの経過

平成22年	1月1日	∴	1市6町合併
	11月29日	∴	中心市宣言
平成23年	9月22日	∴	長浜市定住自立圏形成方針を策定
	11月25日	∴	第1期長浜市定住自立圏共生ビジョンを策定
平成28年	3月25日	∴	第2期長浜市定住自立圏共生ビジョンを策定
令和3年	3月17日	∴	第3期長浜市定住自立圏共生ビジョンを策定
令和7年	9月30日	∴	長浜市定住自立圏形成方針を変更
令和8年	3月	∴	第4期長浜市定住自立圏共生ビジョンを策定

#### 第4期長浜市定住自立圏共生ビジョン（以下、第4期ビジョン）の概要

多様な自然、文化及びライフスタイルを有する地域特性と、商業やモノづくりの盛んな地として地域活力の創出を図ってきた産業特性を踏まえ、今後も引き続き、圏域全体の一体感の醸成と住民と行政の協働による様々な取組の推進、さらには、新たな成長戦略の展開や農林水産業の振興、地域文化を活かした観光産業の振興などを行うことができるよう第4期ビジョンを策定し、圏域全体の均衡ある発展を引き続き目指すものです。

第4期ビジョン期間：令和8年度から令和12年度まで

### 3. 第4期ビジョンの概要

#### 政策骨子（案）

生活機能の強化	ア 医療	(ア) 地域医療体制の充実	2 事業
	イ 福祉	(ア) 子育て支援体制の充実 (イ) しょうがい者（児）・高齢者福祉サービスの充実	4 事業 7 事業
	ウ 教育	(ア) 高等教育機関との連携、知的資源の活用 (イ) 教育環境の整備、充実	2 事業 2 事業
	エ 産業振興	(ア) インキュベーション施設等を活用した新たな地域産業の創出	1 事業
		(イ) 企業立地及び既存産業支援による雇用の創出	1 事業
		(ウ) 中心市街地の整備及び商業の振興	3 事業
(エ) 宿泊滞在型観光の推進		3 事業	
オ 防災体制の整備	(オ) 農林水産業の振興及び地場産品の流通拡大	3 事業	
結びつきやネットワーク強化	ア 防災体制の整備	(ア) 防災体制の整備	1 事業
	ア 地域公共交通	(ア) 持続可能な公共交通の維持確保	2 事業
	イ 交通インフラの整備	(ア) 生活幹線道路等の整備	2 事業
圏域マネジメント能力強化	ウ 生産者や消費者等の連携による地産地消	(ア) 圏域内における地場産品の消費推進	1 事業
	ア 人材育成	(ア) 職員の育成 (イ) 市民活動支援の拡充	1 事業 5 事業
	イ 施設整備	(ア) 圏域内の公共施設の集約化・共同利用等	1 事業

・ 第4期ビジョンの事業数 41事業※うち第3期ビジョン 継続事業38事業 **新規事業3事業**

・ R8総事業費 43.9億円 (R9:43.7億円 R10:57.8億円 R11:43.6億円 R12:41.4億円)

※詳細は「資料2-2\_第4期ビジョン（案）」及び「資料2-3\_第4期ビジョン事業一覧（案）」のとおり

### 3. 第4期ビジョンの概要

## 第4期ビジョンの新規事業（案）

生活機能の強化    イ 福祉    (イ) しょうがい者（児）・高齢者福祉サービスの充実

事業名	グループホーム等整備支援事業			関係地域名	全地域	
事業概要	社会福祉法人等が行うグループホームの整備に要する経費の一部を助成する。					
成果	しょうがいのある人が将来にわたって地域で安心して暮らすことができる環境づくりを促進することができる。					
事業費 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	0	0	16,126	0	0	16,126
国県補助事業等の名称	社会福祉施設等施設整備費国庫補助金 民間心身障害児者社会福祉施設整備費補助金					
成果指標	指標		現状値 (R7)		目標値 (R12)	
	グループホーム新規開設数		0件		1件	

生活機能の強化    エ 産業振興    (エ) 宿泊滞在型観光の推進

事業名	国際観光推進事業			関係地域名	全地域	
事業概要	長浜の「本物の暮らしと文化に触れる旅」を確立し、高付加価値な体験を外国人に提供することで、観光消費額の増大と地域経済の活性化、ひいては文化の継承・発展を実現するエコシステムの構築を目指す。					
成果	インバウンド旅行者の消費機会を拡大し、地域事業者への経済的波及効果を高めることで、地域経済の活性化とともに、長浜の文化継承・発展にも寄与することができる。					
事業費 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	10,851	11,215	11,215	11,215	5,000	49,496
国県補助事業等の名称	地域観光魅力向上事業					
成果指標	指標		現状値 (R7)		目標値 (R12)	
	外国人旅行者数 (日帰り)		4,000人		10,000人	

### 3. 第4期ビジョンの概要

## 第4期ビジョンの新規事業（案）

資源制約に対応するための圏域マネジメント等      イ 施設整備      (ア) 圏域内の公共施設の集約化・共同利用等

事業名	公共施設最適化推進事業		関係地域名	全地域		
事業概要	圏域内の公共施設について、施設の規模や機能、施設間の距離、交通利便性、地形的条件などを総合的に検討し、合併前の旧市町の行政区域にとらわれない最適な施設配置及び集約化等を進める。					
成果	公共施設の最適配置により、人口減少下でも 持続可能な公共サービスを安定的に維持するとともに、機能の集約による利便性向上や質の高いサービス提供を実現し、圏域全体の効率的な運営体制を図ることができる。					
事業費 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	0	未定	未定	未定	未定	0
国県補助事業等の名称		—				
成果指標	指標		現状値 (R7)		目標値 (R12)	
	公共建築物の延床面積削減		●●●●m <sup>2</sup>		●●●●m <sup>2</sup>	

## 4. 第4期ビジョンの策定について

### 今後の予定

年・月	取組内容
R7年 12月	第4期共生ビジョン（案）の報告（長浜改革会議）
R8年 3月	第4期共生ビジョン（最終案）の報告（長浜市議会）
4月	第4期共生ビジョン策定報告（長浜改革会議）

本案をより実効性の高いものとするため、皆様からのご意見・ご提案を賜りますようお願い申し上げます。